

香川高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	英語 I B	
科目基礎情報							
科目番号	0010		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	一般教育科 (託間)		対象学年		1		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材	Compas English Communication 1						
担当教員	鳥越 秀知,出淵 幹郎,鳥越 洋子						
到達目標							
読む・書く・聞く・話すの英語の 4 技能全ての向上を目指し、基本的な語学力(英検 3 級から準 2 級程度)を身につける。 さらに、青年期の学生にふさわしい内容の教材を用い、語学習を通しての人間の成長を目指す。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 聞く能力		既読の内容であれば、ネイティブの音声英語を理解することができる。		既読の内容であれば、ネイティブの音声英語を概ね理解することができる。		既読の内容であっても、ネイティブの音声英語を理解できない。	
評価項目2 読む能力		検定教科書(高 1 対象)の本文や外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語を読んで、辞書を使えば内容を理解できる。		検定教科書(高 1 対象)の本文や外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語を読んで、辞書を使えば内容の大筋を理解できる。		検定教科書(高 1 対象)の本文や外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語を、辞書を使っても、内容の大筋を理解できない。	
評価項目3 書く能力		接続詞、関係詞などを使った正しい英文が書ける。		S+V+～の形で正しい単文が書ける。		センテンスレベルの英文が書けない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		読む、書く、聞く、話す、の英語の4技能全ての向上を目指し、基本的な語学力（英検3級から準2級程度）を身につける。 さらに、青年期の学生にふさわしい内容の教材を用い、英語学習を通じての人間の成長を目指す。					
授業の進め方・方法		高校検定教科書を用い、読む・聞く・書く・話す能力をバランスよく訓練する。 語彙、リスニング、文法の小テストを適宜行う。					
注意点		オフィスアワーは月曜とするが、随時質問のための来室可					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Lesson 1: Dear Fifteen-year-olds		基本的な文型が理解できる。B1:1,2		
		2週	Lesson 1: Dear Fifteen-year-olds		基本的な文型が理解できる。B1:1,2		
		3週	Lesson 2: Nature's Number Ones		助動詞の用法が理解できる。B1:1,2		
		4週	Lesson 2: Nature's Number Ones		助動詞の用法が理解できる。B1:1,2		
		5週	Lesson 3: Kimonos are Cool!		受け身の基本用法が理解できる。B1:1,2		
		6週	Lesson 3: Kimonos are Cool!		受け身の基本用法が理解できる。B1:1,2		
		7週	Lesson 3: Kimonos are Cool!		受け身の基本用法が理解できる。B1:1,2		
		8週	中間試験		中間試験		
	2ndQ	9週	Lesson 4: Brave Mari and Her Puppies		不定詞の基本的用法が理解できる。動名詞の基本的用法が理解できる。B1:1,2		
		10週	Lesson 4: Brave Mari and Her Puppies		不定詞の基本的用法が理解できる。動名詞の基本的用法が理解できる。B1:1,2		
		11週	Lesson 5: Saki's First Trip to Australia		現在完了形が理解できる。B1:1,2		
		12週	Lesson 5: Saki's First Trip to Australia		現在完了形が理解できる。B1:1,2		
		13週	Supplementary Reading 1: The Capricious Robot		過去完了形の基礎が理解できる。B1:1,2		
		14週	Supplementary Reading 1: The Capricious Robot		過去完了形の基礎が理解できる。B1:1,2		
		15週	Supplementary Reading 1: The Capricious Robot		過去完了形の基礎が理解できる。B1:1,2		
		16週	期末試験		期末試験		
後期	3rdQ	1週	Lesson 6: Blue Skies		関係代名詞 who, which, that の用法が理解できる。関係関係代名詞 who, which, that の用法が理解できる。B1:1,2		
		2週	Lesson 6: Blue Skies		関係代名詞 who, which, that の用法が理解できる。B1:1,2		
		3週	Lesson 7: The World of Colors		関係代名詞 whatの基礎が理解できる。B1:1,2		
		4週	Lesson 7: The World of Colors		関係代名詞 whatの基礎が理解できる。B1:1,2		
		5週	Lesson 7: The World of Colors		関係代名詞 whatの基礎が理解できる。B1:1,2		
		6週	Lesson 8: The Ig Nobel Prize		現在分詞、過去分詞の用法が理解できる。名詞節の基本的用法が理解できる。B1:1,2		
		7週	Lesson 8: The Ig Nobel Prize		現在分詞、過去分詞の用法が理解できる。名詞節の基本的用法が理解できる。B1:1,2		
		8週	中間試験		中間試験		
	4thQ	9週	Supplementary Reading 2: Saved by Sport		名詞+接触節の用法が理解できる。B1:1,2		
		10週	Supplementary Reading 2: Saved by Sport		名詞+接触節の用法が理解できる。B1:1,2		
		11週	Supplementary Reading 2: Saved by Sport		名詞+接触節の用法が理解できる。B1:1,2		

		12週	Lesson 9: The Story of Chocolate	関係副詞の基礎が理解できる。B1:1,2
		13週	Lesson 9: The Story of Chocolate	関係副詞の基礎が理解できる。B1:1,2
		14週	Lesson 10: The Coral Crisis	使役動詞の用法が理解できる。B1:1,2
		15週	Lesson 10: The Coral Crisis	使役動詞の用法が理解できる。B1:1,2
		16週	期末試験	期末試験

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	2	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	2	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	1	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	1	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	2	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	1	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	1	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	2	
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	1	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	2	
				高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	1	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	1	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	1	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	1	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	1	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	1	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	1	
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	1	
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	1	
				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	1	
				自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	1	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0